公益財団法人 日本骨髄バンク 第 112 回 業務執行会議 議事録

開催方法:WEB会議形式で開催
（本会議をWEB開催することに関して全理事の同意を得た）
日　　時:2026 年（令和8年）9月11日（金）17:10～17:20
出　　席:岡本 真一郎（理事長）、佐藤 敏信（副理事長）、日野 雅之（副理事長）、
浅野 史郎（業務執行理事）、石丸 文彦（理事）、大西 達人（理事）、橋本 明子（理事）、
岩﨑 裕彦（監事）、沓沢 一晃（監事）
欠　　席:鈴木 利治（理事）、高橋 聡（理事）、瀬戸 愛花（理事）、福田 隆浩（理事）
陪　　席:新谷 幸子（厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室室長）
関口 晃司（厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室室長補佐）
高波 直樹（厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室係長）
古館 賢一（日本赤十字社血液事業本部技術部造血幹細胞事業管理課参事）
事 務 局:小川 みどり（事務局長兼ドナーコーディネート部長兼医療情報部長兼広報渉外部長代理）
田中 正太郎（総務部長兼広報TL代理）、関 由夏（移植調整部長）、荒井 茂（総務部TL）
（順不同、敬称略）

1 開会

2 業務執行会議の成立の可否

業務執行会議運営規則第6条により、本業務執行会議が成立した。

3 議長選出

業務執行会議運営規則第5条により、業務執行会議の議長は理事長があたるとされ、岡本理事長が議長に選出された。

4 議事録署名人の選出

議事録を作成するための議事録署名人は、業務執行会議運営規則第8条により、議長及び出席した構成員が記名押印する。岡本理事長、佐藤副理事長、日野副理事長、浅野業務執行理事がこれにあたるとされた。

〔議　事〕

1 協議事項（敬称略）

（1）スワブ導入促進ワーキンググループの設置について　…　小川事務局長

若年ドナー確保というのは長年の課題であり、諸外国ではWeb登録システムそしてスワブを用いたHLA検査（NGS法）が主流になっている。今後のドナー登録者の減少を見据え、潜在的なドナーの獲得を図るため、スワブを用いたWeb登録システムの導入に向けた具体的な施策について、将来展望を含め審議することを目的とし、スワブ導入促進ワーキンググループ（WG）を設置したいと考えている。

WGでの検討内容として、若年層ドナーの獲得、応諾率向上、スワブによるHLA検査精度の検証などを想定している。設置期間は2年間の予定だが、必要に応じて延長可。体制として、WGのメンバーは医師、理事を核とし、座長を日野副理事長に、HLA検査も関係してくるため、HLA専門家の木村先生、一戸先生にも必要に応じて参加いただく。事務局はプロジェクトチームのメンバー、また外部の広報プロチームが広報活動で関与するため、こちらにもアドバイスをいただきながら、共にやっていきたいと考えている。研究班の福田班、後藤班と密接に連携しながらディスカッションしていただきたいと考えている。

（主な意見）

＜岡本＞　導入に向け必要な方々がバランスよく入っている形、と理解している。

＜日野＞　できるだけ早く本格導入できるよう、頑張りたい。

２　報告事項（敬称略）

（1）寄付金報告　…　田中総務部長

令和8年7月は 1,710 件、約 1,226 万円、8月は 1,349 件、約 1,974 万円の寄付があった。4月からの合計で約 5,814 万円。7月はバンクニュースの影響で、他の月より多くなる傾向がある。また8月に相続関係の大口寄付が 1 件あり、金額が増えている。

（2）採取件数・患者登録数報告　…　田中総務部長

令和8年7月の採取件数は国内BM40件、国内PB52件、国際0件、合計92件。8月は国内BM55件、国内PB47件、国際1件、合計103件。5ヶ月ぶりにBMがPBの件数を上回っている。

（3）調整医師新規申請・承認の報告　…　関移植調整部長

令和8年7月2日から8月31日までで、新規申請18名、異動・辞退18名、現在数 1,275 名。

以上